

松村 呉春(まつむら ごしゅん)

資 料

短冊 『ほととぎす 面目もなき 添寝かな 月溪』

\*月溪は呉春の俳号。

作 者

1752(宝暦2). 3. 15－1811(文化8). 7. 17

京都生まれ。

与謝蕪村に俳句や画を学ぶ。その後円山応挙に写実を学び独自の画風を確立する。京都四条東洞院に住み、四条派の祖と呼ばれる。

参考文献

『につぼんの画家 後世に伝えたい』(茨城美術新聞 2005. 10 [県立 720. 28PP/7(21888300)])

『岡田利兵衛著作集(2)』(岡田利兵衛/著 八木書店 1997. 9 [県立 910. 25/164/2(20974564)])

